おくりん 平成21年１月 No.127

議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番

奥尻高校生、議会を傍聴

平成２０年１２月１６日

平成20年第４回定例会 …… 各会計補正予算、条例改正など

決算審査特別委員会 …… 平成１９年度各会計決算の認定

産業建設常任委員会開催 …… 産業建設課所管事項について視察・協議

総務文教常任委員会開催 …… 住民課・環境センター所管事項について協議

一 般 質 問 …… 青坂賢二議員 ・伊藤 実議員・制野征男議員

第4回定例町議会

一般質問

後期高齢者医療制度における人間ドック費用の助成を

青坂　賢二　議員

質問

後期高齢者医療制度の導入によって、従来行っていた人間ドックを受診できない75歳以上の高齢者に対し政府の助成によって中止していた51市町村のうち、24市町村が再開しました。町は政府の助成によって人間ドックは再開する意思があるのかどうか、75歳以上の人口や人間ドックを受診した数を把握していたなら報告されたい。

七五歳以上の方には健康診査の受診を奨励している

和田　良司　町長

答弁

北海道では75歳以上の人口は57万2千9百22名で、奥尻町では5百41名おります。奥尻町では人間ドックを受診した方はいませんが健康診査を受けた方は13名おりますが、人間ドックを再開する考えはなく、健康診査の受診とガン検診は半額助成となるので、この受診について周知を図っていきたい。

定額給付金の奥尻町での支給予定額と町長の評価について

伊藤　実　議員

質問

政府が景気対策と生活支援を目的として支給を決めた定額給付金の奥尻町への支給予定額はいくらになるのでしょうか。また、町長の評価についての見解を尋ねたい。さらに、定額給付金は申請しなければ支給されない場合が想定されますが、町としてどのように対応するのでしょうか。

景気対策としては評価はされても増税も背後にあり効果は薄れている

和田　良司　町長

尻町において予定されている支給額は、65歳以上は1千40人、18歳以下は4百80人なので3千40万円、65歳以上の方と、18歳以下の方を除くと、約1千9百人なので2千2百80万円となり、全体総額では5千3百20万円と試算ができます。

医師2名を公募しているが採用のメドはたっているのか

制野　征男　議員

質問

奥尻町の地域医療を考える会の報告に基づく住民への説明会は開催する予定はあるのでしょうか。特別養護老人ホームとグループホーム・高齢者下宿とどちらを優先する考えなのでしょうか。医師2名を公募しているが採用のメドはたっているのでしょうか。副院長1名には町長が先の議会で答弁した重大な決意を12月中に伝える意思は持っているのでしょうか。

答弁

給付金の目的が景気対策なのか、社会福祉対策なのか、また、増税論議がされていることから、少し効果は薄れてきている感はいなめません。しかし、低所得者や高齢者にとっては朗報と受け止めており、一定の期待はもっております。奥尻町の地域医療を考える会の報告に基づき町長としての考えをまとめている最中であり、2～3月中に住民への説明会を開く予定でおります。

特別養護老人ホームは30人規模であれば経営も厳しく、また、待機中の人数を考慮すれば20人の増床が求められていると認識しております。認知症の数を把握しているのかとの指摘もされましたが、ホームにおける人数は個人情報の関係で把握できていないですけれども、国保病院の患者には若干名いるとの報告は受けております。

医師採用の努力をしている、住民への説明会は2～3月までに

和田　良司　町長

医師2名を公募しておりますが、現在のところ1名については懸命に努力している最中であります。

先の議会で答弁した1名の医師については12月中に申し渡すことにしております。

ふるさと納税は特定な事業に限定した公募が効果的ではないのか

制野　征男　議員

質問

ふるさと納税は町のホームページで公募しているが本来の行政で行う事業の羅列にすぎず、寄付を行う立場にすればインパクトのないものです。パークゴルフ場の建設、国営草地の花畑の設営など特定の事業としたほうが効果的であり、改善すべきです。

ふるさと納税の実施要綱について役場内での管理職会議、町議会の関係常任委員会での協議を省略している事態は改善をはかるべきではないでしょうか。

他管内よりも寄付は多額だが、事業目的の限定は検討したい

和田　良司　町長

答弁　ふるさと納税の実績は22件で1百10万5千円が納付済みで、8件45万円の申し出があり、他管内と比較すると多額となっております。管理職会議での議論の指摘ですが、住民課と総務課職員の8人で協議し、アワビの贈呈、航空券の贈呈などの要綱を定めており、これでよいと判断しました。今後の寄付の公募方法については目的を特定した方がよいのかどうかを含めて検討してみたい。

国保税の軽減策設定は町民に周知すべき

制野　征男　議員

質問　国保税の滞納額が6千2百万円近くになっており昨今の景気・経済実態からも滞納額が増加することが懸念されております。また、徴収率が2年連続で93％を下回っております。

再三にわたり、前年の所得よりも、大幅に減収になった場合の措置として、決定した税額の軽減・減免措置について求めたことで、平成3年に町が策定し、平成4年に広報で数行だけの記載で済ませたに過ぎません。詳細な軽減措置を町民に周知すべきではないか。

納税相談、軽減措置は申請が必要

和田　良司　町長

答弁　15人で滞納額6千2百万円の42％を占めているとの指摘を受けておりますが、15人のうち、不納欠損処分をした経緯があるのは3人です。平成3年に軽減措置を策定しており、平成4年5月に広報で掲載している実績があります。軽減措置については原則、本人からの申請が必要であり、滞納リストの15人から申請がされていないことから、該当するものではないと判断しております。

商工会発行のプレミア商品券には町は支援すべき

制野　征男　議員

質問　島内の経済はかつてないほど深刻な事態にあり、前年と比較して2～3割もの落ち込みで倒産のラインにあります。6月、12月のボーナス時期に他管内でおこなっているプレミア付の商品券の発行を商工会が行い現金を動かし、商店街の活性化と消費者への感謝の思いを込めて初めて実施したことへの評価と町の財政的な支援の意思について町の見解を求めたい。

活性化への一定の効果認められるなら支援を検討

和田　良司　町長

答弁　雇用実態、経済情勢から商工会が自らの企画でプレミア付商品券の発行を実施したことは評価したいと思います。今回の商工会における商品券の発行についての町への財政支援の要請はありませんでしたが、今後一定の効果が見込まれるならば、町の財政事情によって判断しなければなりませんが、支援要請があればその時点で判断したい。

政府の地域活性化交付金は島内の活性化に使うべき

制野　征男　議員

質問

地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金は12月4日までに政府に申請すべき交付金であったが、町は議会との協議もないままに申請しています。他市町村ではプレミア付商品券の差額分の負担、火災報知器、AED、学校耐震化など町民、議会と協議して使用目的を決めているが奥尻では一切それがなく、役場内での協議もないと聞いています。町は政府へどのような使用目的を持って申請しているのでしょうか。

航空機のキャンペーン、離島航空路の欠損負担などに申請

和田　良司　町長

答弁

12月議会に補正額として1千3百19万8千円を計上していますが、航空機の9月に実施した割引キャンペーン事業として1百43万4千円円、19年度の離島航空路の欠損負担分として5百69万4千円、福祉灯油分として1百5万円、住民税の電算システムとして7百35万円であります。また平成21年度に購入予定のバスの購入費として1千8百18万3千円を平成20年度の前倒しとして申請をしており、申請の総額は3千3百71万1千円円となっております。

平成20年第4回定例町議会は、12月16日に招集され、平成20年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、「議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」等を審議し、いずれも可決され、同日閉会しました。

補正予算

補正の主な内容は、次のとおりです。

▽平成20年度一般会計補正予算（第5号）…原案可決

歳入歳出予算に6百50万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を、35億3千8百69万8千円としました。

〔歳入〕

国有提供施設等所在市町村助成交付金　2百40万円
地方特例交付金　51万6千円
国庫支出金　5百67万3千円
道支出金　△2万3千円
繰入金　△2百72万2千円
諸収入　65万7千円

〔歳出〕

総務費　8百83万9千円
民生費　4百37万9千円
衛生費　1百57万8千円
農林水産業費　25万4千円
商工費　2百48万2千円
土木費　△6百30万9千円
消防費　△4百50万3千円
教育費　△45万円
諸支出金　23万1千円

□平成20年度バス交通事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

職員手当等34万6千円など合計49万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を7千7百82万8千円としました。

□平成20年度自動車整備工場事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

公課費25万3千円など合計2百39万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を9千8百71万5千円としました。

□平成20年度あわび種苗育成センター事業特別会計補正予算（1号）…原案可決

光熱水費40万8千円など合計54万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を4千5百7万2千円としました。

□平成20年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）……原案可決

出産育児一時金73万円な

ど合計2百4万円を追加し、歳入歳出予算総額を4億5千2百16万5千円としました。

□平成20年度国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第1号）……原案可決

燃料費16万2千円など合計19万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を4千41万7千円としました。

□平成20年度介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）……原案可決

特定入居者介護サービス費2百万円などを減額し、総額1百2万3千円を減額して、歳入歳出予算総額を2億1千3百2万8千円としました。

□平成20年度公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）……原案可決

一般職給料1百31万9千円など合計2百11万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を1億4千3百47万6千円としました。

□平成20年度漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）……原案可決

修繕料15万9千円など合計27万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を2千6百75万4千円としました。

条例

○地方自治法の一部を改正する法律施行に伴う関係条例の整理に関する条例

……原案可決

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、「議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」の字句を整理しました。

○奥尻町健康保険条例の一部を改正する条例

……原案可決

健康保険法施行令等の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

その他

○檜山広域行政組合規約の変更について

檜山広域行政組合から組合規約の一部変更について協議があったので、地方自治法第290条の規定により、変更することを決定しました。

○権利の放棄について

檜山広域行政組合が「檜山ふるさと市町村圏基金」の一部を、「檜山ふるさと市町村圏事業」の財源に充てるため、2千万円を限度として処分することに決定しました。

意見書を提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎介護労働者の人材確保と待遇改善に関する意見書

産業界の中での介護労働者の賃金は最下位水準にあり、離職率は二〇〇七年度で21.6％にも達しています。

介護事業所・施設にとっても運営は極めて厳しく、このままでは続けていけないと考えている事業所が増加しています。二度にわたる介護報酬の引き下げのため、人件費にしわ寄せせざるを得ないのが実情です。

利用者・高齢者にとっても、介護労働者の待遇が改善し安心して働けることが必要です。労働者の削減や長時間労働で慢性疲労状態の介護労働者の下では、安全で快適なサービスが受けられなくなります。対人サービスである介護は介護労働者の待遇改善が不可欠です。

また、高齢者・利用者は、介護保険制度の改定の中で介護サービスが制限される傾向が強まっており、保険料負担と利用料負担も大きくなっています。

これらのことから、平成21年4月までに介護従事者の確保を図るように、賃金をはじめとする処遇の改善のための施策を具体化し、実施すること、人材確保と賃金水準の改善については、国の責任で行い、介護保険料、介護サービス利用料の負担増にならないようにすることを要望します。

◎「特例一時金」を50日分に戻し、季節労働者対策の強化を求める意見書

季節労働者の冬期雇用援護制度である通年雇用安定

給付金暫定2制度が廃止され、加えて、雇用保険の季節労働者向け失業給付である特例一時金50日分が40日分に削減され、いま季節労働者はかつてない厳しい生活を強いられています。

建設関連の冬期失業者を対象とする冬期技能講習の給付金9万円および雇用保険の特例一時金2割削減による合計15万円の収入源は、拾い仕事で厳冬の数ヶ月を乗り切る季節労働者にとって深刻な死活問題となっております。

市町村自治体による季節労働者対策である冬期の短期就労事業の拡充は、通年雇用に至らない大多数の季節労働者の雇用と生活の確保、通年雇用化への環境整備として自治体における最重要課題となっており、これへの国の財政措置が必要です。

これら状況から、雇用保険の特例一時金を50日分に戻すこと、通年雇用促進支援事業について、実施主体である「地域協議会」が主体的な事業を無条件に実施できるよう委託条件の大幅な見直しを行うこと、自治体における季節労働者対策の冬期事業拡充のために、特別交付税など財政措置を講ずることを要望します。

◎ＪＲ不採用問題の早期解決を求める意見書

旧国鉄が分割・民営化され、ＪＲ各社が発足してから、既に21年が経過していますが、その過程で発生した職員のＪＲ不採用問題が長期化していることは憂慮すべき事態です。

この間、平成11年5月には、自民・民主・公明・社民・共産・自由の参議院各派代表者がそろって政府に「早期解決」を要請し、政府も努力する意向を表明した経緯があります。

平成17年9月には、東京地裁が「鉄建公団訴訟」判決を言い渡し、採用に当たって不当労働行為があったことを認めています。

よって、国においてはＩＬＯ条約批准国の一員として、この勧告を受け止め、問題の全般的な早期解決に、関係者との話し合いを開始するよう強く要請します。

問責決議を可決

次の決議を原案可決しました。

◇ごみ焼却施設定期点検委託料の予算執行に関する問責決議

【決議の概要】

『ごみ焼却施設の定期点検委託料が、昨年度と比較して、5百32万2千円分増額される補正予算案が9月議会に提案されました。

町議会は減額された定期点検委託料の減額分の補てんではないのか、など不自然な予算措置として賛成多数で凍結決議を可決しました。

この凍結決議を受けて9月26日に開かれた議員協議会で、議長は「報告と説明を受けて再度議員協議会を開催する」とし、町長も「現場を視察してもらう」とも述べて始められました。

しかし、凍結決議の解除がないままに、工事契約、工事執行をおこなったことは、議会の決議を軽視するものであり、その責任を明確にすることを問う。』

以上の決議は賛成7反対2で可決されたもので、提案説明は麓議員が行いました。

議会運営委員会

12月12日に議会運営委員会が開かれ、16日から開催される12月定例町議会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については1日とし、各団体から要請されていた意見書については3意見書及び1決議について、各委員による提案とすること等を決めました。

産業建設常任委員会

11月28日産業建設常任委員会で、昨年10月10日に落成式を行った、農業生産法人「株式会社奥尻ワイナリー」（代表取締役　海老原浩）のワイン工場を行政視察しました。

行政視察後、議会会議室において開催された同委員会の概要についてお知らせします。

【産業建設課関係】

①平成5年度建設の道営住宅について、平成6年2月に道営住宅譲渡に関する覚書を北海道と取り交わしており、平成21年度に契約して、平成22年度から償還することとなっております。償還額は、元金及び利子を含め年間5百32万5千5百4円で、平成22年度から31年度までの償還計画です。

②備蓄タンク調査について、消防法の改正により、5百キロリットル以上のタンク（灯油備蓄タンクは1基8百キロリットル）にも耐震基準を満たすよう適用されることになっていることから、耐震基準に適合するよう改造する必要があるということで、その調査を平成22年度までに実施する予定です。

③奥尻港湾の空スペースについて、ある業者から借りたい旨話があり、町としても賃貸する意向で、賃貸期間は25年以上を考えています。

④マリンタウン構想について、10年後までを前期とし、20年後までを後期とした整備イメージについて担当課から説明がありました。

⑤道々奥尻島線の釣懸川から武士川区間は、赤石、東風泊地区の事業進捗状況をみながら、平成21、22年度において大規模事業事前評価を実施する予定であることが担当課から説明されました。

⑥奥尻町公共下水道事業計画について、1期計画は終了し、残りの東風泊地区、赤石地区については、全区域を実施するのか、一部実施するのかを北海道と協議する状況となっています。

⑦奥尻島歓迎キャンペーン事業について、事業継続を町長は表明しておりますので、引き続き次年度も実施します。

総務文教常任委員会

12月5日開催された同委員会の概要についてお知らせします。

【住民課関係】

住民課から平成20年度11月28日までの町民税、固定資産税、国保税などの収納実態について報告がされました。

【環境センター関係】

環境センターから平成19年度から平成23年度までの整備計画（案）が示され、今後の機器整備等について説明がありました。

《その他》

総務課長から、㈱檜山観光物産公社の解散整理を行うにあたって、「檜山ふるさと市町村圏基金」の財産処分として、基金の3割を取り崩しになるとの報告がされました。

新村議長辞職、麓敏也議員が新議長となりました

1月7日、新村卓実議長（当時）から、一身上の都合により13日をもって議員を辞職する旨届出が伊藤副議長宛提出されました。

これを受け、1月16日に平成21年第1回臨時議会が開会され、議長選挙を行った結果、麓　敏也議員が新議長に選ばれました。

また、議長に麓　敏也議員が選出されたことに伴い産業建設常任委員長に青坂賢二議員、檜山広域行政組合議員に齋藤伸彦議員が選ばれました。

麓　敏也　新議長

臨時議会

第1回（1月16日）

選挙

◇議長選挙について

この選挙は、新村卓実議長が1月13日をもって議員を辞職したことから、選挙が行われることになったものです。

【選挙結果】

麓　敏也　議員	
獲得票数	7票
制野征男　議員	
獲得票数	1票

※無効票が1票ありました。

補正予算

◇平成20年度一般会計補正予算（第6号）…原案可決

歳入歳出それぞれ1百18万2千円を追加し、予算総額は35億3千9百88万円となりました。

〔歳入〕

地方交付税　1百万5千円
国庫支出金　19万3千円
道支出金　△1万6千円

〔歳出〕

総務費　1百2万2千円
（町議会議員補欠選挙のためのポスター掲示板設置等委託料37万円など）
民生費　16万円
（児童手当予算を増額するため）

選任

◇議会運営委員会委員の選任について

麓　敏也議員が議長に選ばれたことから、産業建設常任委員を辞任することとなったため、臨時会休憩中に産業建設常任委員会が開かれ、産業建設常任委員会の委員の互選により、青坂賢二委員が産業建設常任委員長へ就任しました。

このことにより、産業建設常任委員長が議会運営委員の構成員となることから青坂賢二産業建設常任委員長が、議長の指名により議会運営委員会の委員に選ばれました。

◇檜山広域行政組合議会議員選挙について

会議に諮り、議長の指名推選となったことから、麓議長が齋藤伸彦議員を指名したため、檜山広域行政組合議会議員には齋藤伸彦議員が選ばれました。

お　願　い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長 の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願いします。

◆送　付　先　奥尻町字奥尻
奥尻町議会議長あて

決算審査特別委員会11月13日開催

決 算 の 認 定

平成19年度奥尻町各会計決算は、次のとおり認定されました。

平成19年度　奥尻町各会計決算

（単位：円）

区分 / 会計名		歳入	歳出	差引残額
一般会計		3,708,655,329	3,698,179,017	10,476,312
バス交通事業特別会計		96,844,984	96,815,613	29,371
自動車整備工場事業特別会計		104,997,941	104,744,608	253,333
あわび種苗育成センター事業特別会計		45,987,814	45,987,814	0
国民健康保険事業勘定特別会計		510,852,734	506,318,960	4,533,774
国民健康保険直営診療所特別会計		36,014,385	35,969,137	45,248
老人保健医療事業特別会計		397,319,537	397,263,403	56,134
介護保険事業勘定特別会計		215,455,294	213,416,283	2,039,011
介護保険介護サービス事業勘定特別会計		14,306,777	14,306,777	0
簡易水道事業特別会計		54,674,950	54,337,927	337,023
港湾施設用地造成事業特別会計		31,008,327	31,008,332	995
公共下水道事業特別会計		134,670,777	134,656,863	13,914
漁業集落排水事業特別会計		32,538,764	32,489,714	49,050
国民健康保険病院事業会計	収益的収入及び支出	727,931,173	732,922,786	△ 4,991,613
	資本的収入及び支出	4,971,000	11,296,480	△ 6,325,480

決算審査特別委員会状況①

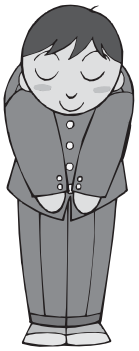
決算審査特別委員会状況②

※毎年12月の定例議会には奥尻高校3年生の皆さんが傍聴に来られます。
今回の傍聴者数は、生徒さん方が19人、引率の先生方が2人の合計21人でした。
いつもまばらな傍聴席がこの日だけは満員状態で議会も雰囲気が変わり、おかげでいつも以上に気合いの入っている議員も見受けられます。
定例会終了後、生徒さんから感想文が寄せられました。本当は全員の文章を載せたかったのですが、紙面の都合上、男女1名ずつしか掲載できませんでしたのでどうかご了承下さい。
私たちも勉強の機会になりましたので、高校生の皆さんや先生方にまずはお礼を申し上げます。
また、傍聴に来られたみなさんは春には進学、就職等進路は別々ですが、皆さんの活躍をお祈りするとともに、議会が開かれる際はまた是非傍聴に来られますようお待ちしております。
これからの人生、ぜひ頑張ってください。

☆議会見学を終えて

3年　M君

議会見学という事でいつもよりビシッとして行きました。
どんな風に議会をくり広げられるかと思ったのですが、テレビでよく見る裁判や国会のように議論していたので驚きました。
議長の声が渋くてかっこよかったです。
僕が一番気になった内容は、やはりフェリーの運航のことです。あとアナウンスの事です。アナウンスは確かに観光客の方々も聞かされるので直した方がいいと思います。
ただ、男か女かの事については僕はどちらでもいいと思います（笑）。
運航は10分ながびくという事でちょっと辛いです。僕は船酔いするので乗船時間が長引くのは地獄です。
さらに、長引く事により奥尻についた時、バスの時間とあわなくなるのは結構不便だと思います。
医療についてはかなり苦しい問題だと思います。ただでさえ離島だというのに、いい医者がいないのは不安でしょうがありません。
急患を断った医師がいると聞きましたが、医者になった以上たとえ自分の担当じゃなかったとしても救おうと思うんじゃないのか？と思いました。
離島だからこそちゃんとすべきだと思います。
今回貴重な場を見学させていただき勉強になりました。僕らが暮らしている中でこんなに熱く議論していると知る事ができました。
ありがとうございました。



☆議会見学を終えて

3年　Tさん

議会見学を初めて見学し、議員の方々が奥尻の為に貢献している姿が凄いと感じました。医療についても医大生アンケートなど、資料を元に討論したりなどしていて、医療系に進みたいと思っている私は、将来奥尻に貢献できるようになりたいと考えさせられました。
フェリー内のアナウンスの事など細かな所まで注意して聞いていた事に驚きました。今まで自分達が何気なく聞いていた事が観光客の立場に立って考えたりする事により、気づかされる事があるんだと思いました。
また、私達高校生が議会の内容を理解できるように、分かりやすく、内容を説明して下さった議員の方々のおかげで理解する事ができました。
島民の使用する交通機関の事を討議をしたり、議員の方々は日々島民の為に活動しているんだと知りました。私達の生活をスムーズに行えるように町長や議員の方々は努力していると知る事ができ、とても勉強になりました。
普通では、体験できない議会見学をし、奥尻の現状や議員の方々の仕事を知り、とても貴重な体験をする事ができました。
自分も将来は、少しでも地元に貢献できる大人になりたいと感じる事ができました。
今回は、このような貴重な議会見学をさせていただきありがとうございました。

議会のうごき

10 月

3～ 4日　地域振興に関する意見交換会（江差町）議員２名出席
8～ 9日　平成20年度第２回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）議員２名出席
9～10日　北海道総務部長との意見交換会（せたな町北檜山区）議長出席
28～29日　支庁制度にかかる江差町住民集会（江差町）議長出席

11 月

10～12日　北海道市町村職員退職手当組合運営委員会（札幌市）議長出席
15～21日　離島振興町村議会議長会協議会（札幌市）及び離島振興町村議会議長会優良市町村視察（三重県鳥羽市・伊勢市）、第27回離島振興市町村議会議長全国大会・第52回町村議会議長全国大会並びに北海道の自衛隊体制維持を求める中央決起大会（東京都）議長出席
28日　産業建設常任委員会開催

12 月

2～ 4日　北海道市町村職員退職手当組合運営委員会（札幌市）議長出席
4～ 5日　檜山支庁管内町村議会議長会臨時議長会（乙部町）議長出席
8日　総務文教常任委員会開催
12日　議会運営委員会開催
16～17日　第４回町議会定例会開催
25～26日　平成20年度第３回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）議員２名出席
26日　広報編集特別委員会開催

編集を終えて

今年も高校生が12月定例会を傍聴していきました。

過去何人かに「どうだった」と感想をきくと、「難しい」「眠かった」と言うのが定番だったのですが、今年は「おもしろかった」「まだ聞きたかった」という予想外のお答え。

もちろん嬉しかったし、このことで自分の住んでいる地域事情に興味を持ってもらえればと思います。

毎年傍聴に来るのは3年生ということで、この春には卒業していくわけですが、最近は景気低迷という暗いニュースが多い中、若い皆には大きな可能性があります。

ぜひスケールは大きく、この地球上での自分のポジションを見つけてください！

広報編集特別委員会（S）